



かがり火コンサート

7月4日（土）、福島大神宮境内特設ステージにおいて、第20回かがり火コンサートが開催されました。

当日は、第3部構成で行い、第1部は、北海道大学公共政策大学院の小磯修二特任教授に「北海道新幹線と道南の未来」という題目で講演を行っていただきました。

第2部は、松前神楽保存会の神職らが「八乙女舞^{やおとめまい}」や「獅子舞」などの松前神楽を舞い、第3部は、ノンジャンル音楽ユニットのヒカシューが多彩な音楽を披露しました。

来場者は、かがり火の中、ステージでの催事を楽しんでいました。



▲かがり火が灯される中で松前神楽（八乙女舞）を舞う様子

社会を明るくする運動

『犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ』をスローガンに7月の1カ月間を強調月間として、「社会を明るくする運動」が開催されました。

当町でも、7月6日（月）に役場前に保護司会や更生保護女性会の関係者が集まり、総理大臣と北海道知事メッセージの伝達式が行われました。

メッセージの伝達に続き、青少年を代表して、福島中学校の白川由依さんから非行や犯罪のない社会を目指す決意表明が行われました。



▲白川由依さんによる決意表明の様子

福島町戦没者追悼式

7月14日（火）、町内の戦没者を追悼する福島町戦没者追悼式が遺族や関係者約60名が参列し、福祉センターで開催されました。

追悼式では、遺族を代表して本庄節さんから「ふた度、戦禍のない様、世界の恒久平和を祈念し、英霊皆様の安らかなご冥福をお祈りいたします。」と1追悼の辞を述べられた後、参列者全員が献花を捧げました。



▲戦没者追悼式の様子